



日本共産党
北茨城市委員会
歳原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
インターネットでも
ご覧いただけます。

<http://www.jcp-ktib.com/>

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462

各地で深刻化する

自治体立病院の危機・医師不足

地域医療をまもる職員組合の積極的な運動の報告も

自治体問題研究所による

セミナー「医療改革と地域

医療」が2月11日、埼玉県

浦和で開かれ、鈴木やす子

市議が独自に参加してきま

した。概要を報告します。

現在、国のすすめる医療

改革によって、療養病床の

削減や医療保険の運営主体

の移管など、大きな変化が

みられます。また、医療の

高度化がすすむにつれ、

医師・看護師など人材の不

足が生じています。

「医療改革と地域医療」の研修から

それらを背景に、全国各

地で地域医療の危機、自治

体立病院の危機が進行して

おり、北茨城市でもきびし

い事態になっています。セ

ミナーでは、同じような問

題に直面し、苦慮している

実態が多く参加者から報

告されました。

医師の引き上げによって

診療科目が縮小され、病院

の経営そのものが追いつめ

られています。また、保健

運営のあり方が変わるこ

と

署名を集め、自治体首長と
の懇談も重ねるなど運動が、
病院を存続させる力になっ
ているというものでした。

地域住民の命と健康を守

るとい自治体立病院の基

本に立てばこそ、住民の声

を聞き、お互いに学習しあ

い、要求をまとめていく「住

民自治」のあり方が問われ

るとの思いを強くしました。

茨城県女性団体連盟のつどい

2月13日、水戸で「茨城

県女性団体連盟のつどい」

が開かれました。これまで

は、県女性海外派遣事業（ハ

ーモニーフライト）の報告

会。より広く知らせるとの

ことで、県内の女性県議・

市町村議にも声がかかり、

400人の参加者で盛大な

北茨城でも好評だった
「はらんきょう」も公演

開催となりました。

昨年の「ハーモニーフラ

イト2006」は、オース

トラリアとニュージーラン

ドを訪問しました。団員は

27名、男女共同参画を軸に、

環境・教育・福祉の3つの

テーマでグループ研修し、

それをスライドやビデオを

が発表されました。

学校校舎の耐震や不審者

対策という身近なものもあ

れば、商店街の活性化など

地域にひろがっての話題も

あつて、若い世代なりに関

心を寄せていることがよく

わかりました。これに市長

も、市議会でのようすとは

全然ちがうという驚く人も

いるほど、ていねいに回答

していました。



百里初午祭

2月11日、恒例の「初午祭」が開か
れました。自衛隊の飛行場の誘導路を
「く」の字に曲げている百里平和公園（旧
小川町）に、平和団体はじめ、法華経
のお坊さん、共産党、社民党など、400
名を超える参加者。

現地で、「はじめまして。私も北茨城
市からです」とあいさつをいただけた
のには感激しました。（鈴木 記）



使つて報告しました。
ごみゼロにとりくんでい
る運動、一人ひとりに合わ
せた柔軟な教育、自立した
高齢期への支えなど、それ
ぞれに持ち帰って地域に貢
献していきたいとの決意が
話されました。

後半は、筑西市の「はら
んきょうの会」による「茨
城弁で語る女性差別撤廃条
約」の構成劇です。じつは
3年前に北茨城市の男女共
同参画推進事業の公開講座
でも公演し、わかりやすさ
と親しみやすさが好評でし
た。最近の話題もおりこみ
ながら、いちだんと茨城弁
もなめらかで、「また北茨
城市でも呼びたいね」との
声も聞かれました。

最後に「国連・婦人の地
位委員会」日本代表の目黒
依子さんが「ジェンダー平



市女性連盟
が主催して

「市長と話してみませんか」

初めて中学生が参加・発言

北茨城市女性連盟が主催

する市長と語る会が2月10

日、関南多目的集会所で開

かれました。今年で第8回

を数えます。

財政や交流人口など市政

全般の問題から、福祉作業

所の運営の問題や成人式の

あり方といった意見が出さ
れました。さらに地域の人
たちの巡回など、市民ボラ
ンティアの動きがあること
なども紹介されました。

なお今回は、「若い人の声

も」とのことで中学校に要

請し、関本中と常北中から

24名の参加がありました。

司会者に促されると、はじ

めこそ緊張していたよう

ですが、積極的な意見や要望